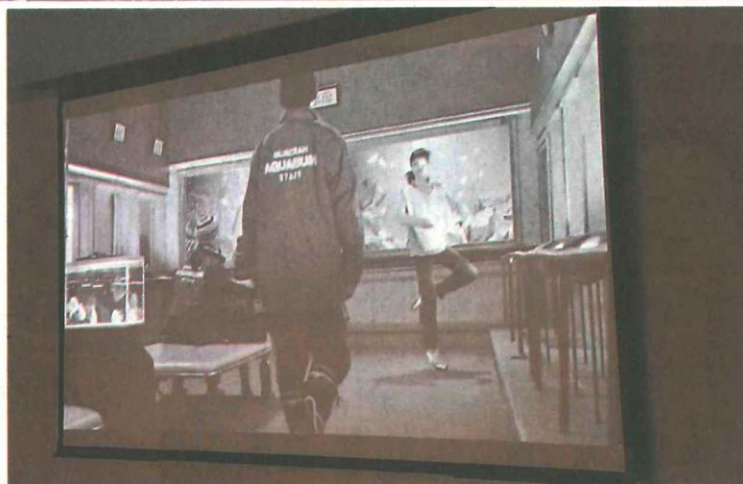


# 水族館舞台 映像鮮やか

## 映画「モルエラニの霧の中 冬の章」中間報告試写会

西胆振を舞台にした映画「モルエラニの霧の中」(坪川拓史監督)の中間報告試写会が26日、製鉄記念室蘭病院内の大講堂で開かれた。今年3月に撮影した「冬の章 水族館のはなし」が初めて上映され、2回合わせて200人が、鮮やかな映像と音楽の世界を堪能した。

(田中雅久)



Ⓛ 上映後にあいさつする坪川監督(中央奥)と浜長君  
Ⓜ 26日上映された映画「モルエラニの霧の中」冬の章のワンシーン

## 坪川監督 市民キャストを評価

冬の章は、冬季休館中の水族館が舞台。NHKの連続テレビ小説「べっぴんさん」に出演した俳優の中島広稀(ひろき)さん演じる飼育員と、水族館近くに住む親子が、クラゲに関する物語を繰り広げる。オーディションで選ばれた市民キャストの浜長卓生君(室蘭八丁平小3年)が子ども役を務めた。

室蘭在任の坪川監督は上映後、「まだ足りない部分がある。10月に残りを撮影して、年明けには完成できれば」とあいさつした。浜長君については「非常に良い目をしていて。度胸があつて素晴らしい」と評価した。浜長君は「難しいと感じることなく撮影を楽しめた」と振り返った。

昨年夏に撮影した「夏の章 静かな空」も上映され、映像に合わせて坪川監督ら3人が弦楽器などでBGMを演奏した。登別市札内町の会社員山田光之さん(60)は「全編出来上がるのが楽しみ。地元で物語が作られているので、町が盛り上がりげれば」と期待を込めた。

同映画は全7章の短編で構成するオムニバス作品。市民有志でつくるNPO法人「室蘭映画製作応援団」が中心となり、2014年から撮影している。